

令和3年度

事業実績報告書

施設名： インターグループホーム

事業所名	社会福祉法人 みのり福祉会 インターグループホーム			職名	人数	備考
施設長・管理者名	施設長 児玉 和也 管理者 葦山 幸恵			施設長	1名	兼務
実施事業	指定地域密着型(介護予防) 認知症対応型共同生活介護			管理者兼介護支援専門員	1名	
開設年月日	平成17年12月1日			介護支援専門員	名	
所在地	鳥取県倉吉市福守町407-12			生活相談員	名	
正規職員数	1名			看護師	名	
準職員数	4名			介護員	11名	
契約職員数	10名			介護補助員	1名	
定員	18人	実績利用者数	17.7人/日	夜間専門員	2名	
			達成率	98.3%	計	15名 (兼務除く)
項目	事業計画			事業実績		
1 基本方針	認知症になっても、地域の中で当たり前の暮らしができるように、ご利用者様の個性を尊重し、家庭的な生活環境のもとで一人ひとりの力を引き出せるよう支援する。 ご利用者様の心身の状態を把握し、医療機関と連携を図り適切な対応に努める。 地域の一員として、地域活動を通じ馴染みの関係を大切にする。					
2 運営方針	①今までの生活を把握し、その人らしい生活ができるよう支援する。 ②アセスメントを行い、一人ひとりの持っている力を引き出せるよう支援する。 ③個人を尊重し、側面からご利用者様を支え、想いを大切にすることで安心感が得られるよう支援する。 ④ご利用者様の心身の状態を把握し、安心して適切な医療が受けられるよう支援する。 ⑤地域とのかかわりを大切にし、地域の一員としてさまざまに人々との交流が図れるよう努める。 ⑥提供するサービスの質の評価を行い、改善を図るように努める。					
3 主な事業内容	(1)施設整備計画 物置の設置工事 148千円			(1)施設整備実績 物置の設置工事 他 233千円		
(1)施設整備事業						
(2)事業活動	(2)事業活動 ①インター畑では、穀物や果物などの作物を自然豊かな環境の中で育てる喜び、採れた食材を使い、食す楽しみを提供する。 ②植栽したバラを造形し、ご利用者様の憩いの場、地域景観の潤いを実現する。また地域住民の皆様にも楽しんでいただき、施設の特色として発信する。 ③年1回地域交流カフェを開催し、地域の関係機関や住民の皆様をご招待し、地域に根付き、開かれた施設にする。 ④近隣施設と合同で、ご利用者様と子どもたちのふれあいや認知症理解の推進を目的にした『なかよしカフェ』を開催し、認知症の理解を深めることで認知症であっても地域で変わらない生活の実現を目指す。 ⑤地域との繋がりを大切に、コスモスプロジェクトを実施する。地域住民、近隣の小学校へ黄色いコスモスの種の配布等を行い、コスモスを通して交流を図り、地域の一員としての理解促進に努める。 ⑥私たちはご利用者様の今まで続けてこられたこと、大好きな趣味、叶えたかった夢を応援する。年間を通し、お一人ずつ、または皆様で夢を実現し、笑顔で過ごせる日を少しでも多く支援する。			(2)事業活動 ①畑で収穫した野菜を日々の食事で提供し、食す楽しみに繋がった。 栽培野菜：イチゴ・ニラ・キャベツ・ハクサイ 他 ②バラを造形するため、大きく育成するように手入れを実施した。 ご利用者様と一緒にこまめな草取り、水やりを実施した。 ③感染症予防のため、交流カフェではなく、事業所内でご利用者様対象のカフェを開催した。 ④感染症予防に配慮し、近隣施設の子どもたちとガラス越しでの交流や飲食なしのプレゼント交換等で交流を図り、認知症や施設の理解に努めた。 ⑤地域の小学校で認知症理解の絵本教室に参加し、後日コスモスの種を配布した。 施設周辺にコスモスの種まきを実施。取引先やご家族様へ種の配布を実施した。 ⑥ご利用者様の想いを担当者がアセスメントし、外出支援や嗜好品の購入を行い実現に向けて活動した。		

	<p>⑦新型コロナウイルス感染症予防対策として直接のご面会を制限する場合には、タブレット端末を活用したオンラインでの面会を提供し、ご利用者様がご家族様や知人と会う楽しみを維持する。</p>	<p>⑦タブレット端末を使用し、オンラインでの面会を実施した。 オンライン面会実績はご利用者様2名で15回程度。 ご家族様、関係者に対し、広報誌や通知等でオンライン面会について周知を図った。</p>
<p>4 安全管理・衛生管理</p>	<p>(1)マスクの着用、手指消毒の徹底、施設内の定期的な消毒・換気の実施、ご利用者様・職員の健康管理等の予防策を日々実践し、感染症の予防、拡大防止に努める。</p> <p>(2)新型コロナウイルス感染症については、手洗い、マスクの着用、手指のアルコール消毒を徹底し、三密を防ぎ、感染拡大防止に十分配慮する。</p> <p>(3)「気づき」の観察力を高めるため、ヒヤリ・ハットを実践することにより、リスクマネジメントとして分析し、事故防止に努める。</p> <p>(4)設備・備品等の安全管理を行い、物品等の整理整頓及び福祉用具のメンテナンスを徹底するとともに環境整備に努める。</p> <p>(5)車両について使用前の日常点検などの安全管理を徹底するほか、運転の状況などを把握するため、運転日誌等の記録を行う。</p> <p>(6)職員に対し、道路交通法等関係法令を遵守し交通安全に努めるように、研修などを通じて安全教育を実施する。</p>	<p>(1)職員、ご利用者様のマスク着用の徹底を実施。手洗いの励行のため、ポスターの掲示を行った。体調変化があった場合は速やかに医療機関と連携を持ち、対応した。</p> <p>(2)情報収集に努め、感染症対策の見直しを都度行い、拡大防止に努めた。 日々、ご利用者様、職員の健康管理に配慮し、早期対応を行うことを徹底した。</p> <p>(3)書式の見直しを実施。各フロア担当者が会議での件数、内容の報告を行い、分析、改善方法の見直しを実施し、事故防止に努めた。</p> <p>(4)毎月の自主点検の実施。月1回の整理整頓、環境整備を実施した。 環境整備については、ご利用者様と一緒に毎月実施した。</p> <p>(5)日常点検を行い、異音などの変化を認めた際にはすぐに報告し、修理を行い、安全に努めた。運転日誌の記録を確実に実施した。</p> <p>(6)安全運転のポスターを掲示し 見える化を行うことで安全意識を高めた。 公用車へ同乗した職員も一緒に安全確認の声掛けを実施した。</p>
<p>5 防災・火災、救助体制</p>	<p>防災計画及び災害対応マニュアルにより、防災及び災害時の人命の安全、被害の軽減を図る。</p> <p>(1)防火管理者を中心に、入居ご利用者様の実態に即した防災訓練(年2回)の計画、実施を行い、また、防災活動への参加、地域防災情報の把握に努める。</p> <p>(2)有事に迅速な対応ができる環境整備を進めるとともに、スプリンクラー等の点検、防災設備の点検を行い、ご利用者様の安全の確保を行う。</p> <p>(3)近隣自治公民館との連携による緊急時避難体制を確立する。</p> <p>(4)地震、風水被害等の自然災害及び火災に備え、食料品・日用品・防災品・衛生品等の必要品を備蓄する。</p>	<p>(1)夜間帯想定での、火災、水害、地震などの避難訓練を防火管理者を中心とし実施した。</p> <p>(2)施設内の設備の点検、部品交換を行った。 避難経路の環境整備を実施し、安全の確保に努めた。</p> <p>(3)運営推進会議報告を通し、避難訓練の報告を自治公民館に対し実施した。</p> <p>(4)避難時使用の担架の購入や食料品等の保管場所の確認、整理整頓を実施した。</p>
<p>6 職員の資質の向上と研修</p>	<p>施設内外の各種研修を通じて職員の資質の向上を図ると共に、専門知識及び技術の向上を目指す。</p> <p>(1)外部研修への参加 認知症実践者研修、介護専門職研修、鳥取県社会福祉協議会、地域包括支援センター等が主催する研修の参加を通じ、知識や技能の習得に努める。</p> <p>(2)法人内部研修への参加 法人内の研修は、研修内容に応じた職員が参加し必要な知識、各種の介護技術の取得を図る。</p> <p>(3)施設内研修の実施 ①年間計画に沿った施設内勉強会の実施や、外部研修で学んだことの伝達研修を行う。また、実践を用いた活きる研修を実施し、個々のスキルアップを目指す。 ②実務経験の少ない職員については、知識や技能、経験の高い職員により実務を通じた研修を行い、人材育成に努める。 ③ストレスマネジメント研修などを実施し、職員のメンタルヘルスケアに努める。</p> <p>(4)職員の資格取得のための取り組み 法人が定めた「国家資格等取得者に対する助成要領」による資格取得に対する助成制度を活用し、キャリアアップ・知識及び実技の習得について既得職員等に介護福祉士、介護支援専門員などの資格取得を促す。</p>	<p>(1)オンライン研修に積極的に参加を行い、知識、技能の習得に努め、研修後には会議にて報告、勉強会を実施した。</p> <p>(2)法人のweb研修に各職員が交代で参加し、技術の習得、向上に努めた。</p> <p>(3)施設内では毎月担当者を決め、認知症・リスクマネジメント・感染症予防対策・身体拘束・虐待防止・ストレスマネジメント等の研修を開催し、個々の理解、スキルアップに努めた。 新任職員に対し、リーダーを中心とした経験値の高い職員でマニュアルを用いた研修を実施し、人材育成に励んだ。</p> <p>(4)介護福祉士取得を目指す職員の勤務調整や業務量の軽減を図り、資格取得のサポートを実施した。</p>
<p>7 各種団体との連携と地域交流</p>	<p>①ご利用者様とご家族様や保育園、地域・団体等との交流の場を設ける等しながら、社会の一員として積極的に社会交流が図れるように努める。</p> <p>②グループホームが立地する地域へ積極的に出向き、地域住民の方の理解と協力体制の確立を目指す。</p> <p>③学生、傾聴、介護ボランティア等の受け入れを行い、グループホームやご利用者様への理解に繋がるよう努める。</p>	<p>①高城小学校に出向き、認知症についての絵本教室にて、アドバイザーとして認知症理解の推進に努めた。</p> <p>②地域への外出を積極的に行い、施設への理解に努めた。</p> <p>③感染症予防対策として、ボランティア等の受け入れを中止した。</p>

季節・年間行事

施設名：インターグループホーム

実施月	行事計画	行事实績
令和3年 4月	誕生会 花見外出 花祭り 傾聴ボランティア なかよしカフェ	2日 花見 20日 誕生会 28日 花まつり 傾聴ボランティア コロナ禍のため受入れ中止 なかよしカフェ コロナ禍のため開催なし
5月	誕生会 花見外出(燕趙苑) 傾聴ボランティア 家族交流会	22日 花見外出 ドライブ外出へ変更 23日 誕生会 家族交流会 コロナ禍のため開催中止 傾聴ボランティア コロナ禍のため受入れ中止
6月	誕生会 粽作り 傾聴ボランティア	6日 あやめ池外出 20日 東郷湖ドライブ外出 25日・27日 誕生会 粽作りは感染症予防のため中止し、ドライブ外出へ変更 傾聴ボランティア コロナ禍のため受入れ中止
7月	誕生会 傾聴ボランティア	7日七夕 21日 誕生会 27日 燕趙園ドライブ外出 傾聴ボランティア コロナ禍のため受入れ中止
8月	誕生会 福祉の里夏祭り 傾聴ボランティア なかよしカフェ	20日 施設内夏祭り 27日 誕生会 傾聴ボランティア コロナ禍のため受入れ中止 なかよしカフェ コロナ禍のため開催中止
9月	誕生会 敬老会 合同夕涼み会 傾聴ボランティア	25日 三徳山ドライブ 29日 敬老会 コロナ禍のため、合同夕涼み会は中止 傾聴ボランティア コロナ禍のため受入れ中止
10月	誕生会 ミニ運動会 傾聴ボランティア	14日 ミニ運動会 誕生会は対象者なく、開催せ 傾聴ボランティア コロナ禍のため受入れ中止
11月	誕生会 福祉の里文化祭 傾聴ボランティア 紅葉外出	6日・20日 福祉の里文化祭 7日 紅葉外出 25日 誕生会 傾聴ボランティア コロナ禍のため受入れ中止
12月	誕生会 クリスマス兼家族交流会 傾聴ボランティア 餅つき なかよしカフェ	誕生会 対象者なく開催せず 25日 クリスマス会(家族会の開催はなし) 28日 餅つき なかよしカフェ(子どもたちとプレゼント交換だけ実施)
令和4年 1月	誕生会 初詣 新年初釜 どんど 傾聴ボランティア	2日～4日 初詣 9日 東郷池ドライブ外出 10日 新年初釜 14日 とんど祭り 29日 誕生会 傾聴ボランティア コロナ禍のため受入れ中止
2月	誕生会 節分(豆まき) 傾聴ボランティア	2日 節分 26日 誕生会 傾聴ボランティア コロナ禍のため受入れ中止
3月	誕生会 ひなまつり 傾聴ボランティア 地域交流カフェ	3日 ひなまつり 12日 コロナ禍のため地域交流はせず、施設内でカフェを開催 20日 あやめ池外出 29日 誕生会 傾聴ボランティア コロナ禍のため受入れ中止